



令和 7 年 7 月 18 日

宮大、鹿大、慈恵医大、3大学単位互換協定に基づく学術交流 看護学生交換・交流実習 ~宮崎県 椎葉村実習~

宮崎大学・鹿児島大学・東京慈恵会医科大学の3大学は、明治期の医学・看護の発展に大きく貢献した高木兼寛先生ゆかりの教育機関として、長年にわたり学術交流を続けてきました。

令和4年度からは看護学教育に特化した連携も始まり、令和5年度より単位互換協定に基づく看護学生の交換・交流実習を展開しており、本年度(令和7年度)はその第3回目にあたります。

椎葉村実習の意義と特色

椎葉村での実習には、宮崎大学2名、鹿児島大学1名、東京慈恵会医科大学2名の看護学科4年生計5名が参加予定です。

参加学生は、事前に椎葉村の地域特性や健康課題について調べ、テーマを設定。現地では、村役場、医療・福祉施設、教育現場、住民との交流の場を訪問し、自らの問いに向き合います。異なる大学・地域で学んできた仲間との意見交換を通じて、看護観の深化や視野の拡張が期待されます。

実習中には、以下のような公開プログラムも予定されています。

7月28日(月)午後:事前学習発表(テーマ:椎葉村の地域特性と学びたいこと)

7月31日(木)午後:学生企画ワークショップ(住民との対話型交流)

8月1日(金)午前:成果報告プレゼンテーション(学びの共有)

ぜひ、取材についてご検討いただければ幸いです。

記

実習名:3大学連携看護学交換実習

実習期間:令和7年7月28日(月)~令和7年8月1日(金)

実習場所:宮崎県東臼杵郡椎葉村内(役場・医療福祉施設・教育機関ほか)

参加学生:宮崎大学2名、鹿児島大学1名、東京慈恵会医科大学2名(看護学科4年生)

主な内容:・地域特性に関する事前発表

・椎葉村の医療・福祉・教育・産業施設の見学

・住民との交流

・学生企画ワークショップ

・成果発表プレゼンテーション

問い合わせ先

医学部看護学科 担当 板谷智也

e-mail:

tomoya_itatani@med.miyazaki-u.ac.jp

TEL:0985-85-9814

発信元

企画総務部総務広報課

e-mail:kouhou@of.miyazaki-u.ac.jp

TEL:0985-58-7114